

2010年度総会議案書

第1号議案 役員選任（案）承認の件

第2号議案 2009年度活動報告（案）および決算書（案）承認の件

第3号議案 2010年度活動計画（案）および予算書（案）承認の件

2010年5月12日

パシフィコ横浜

イベント学会

第1号議案

役員選任（案）承認の件

（1）理事・監事選任

（2）役付き理事選任

1) 会長・理事長選任

2) その他の役付き理事選任

2010年度理事候補者名簿

(1) 理事・監事選任

表1：個人会員当選理事候補者（10位以内・敬称略）10名

順位	得票	氏 名	現在役職	所 属
1	68	小林 政則	常務理事	イベント学会 事務局長
2	59	堺屋 太一	会長	㈱堺屋太一研究所 代表取締役
3	46	野川 春夫	副会長	順天堂大学 教授
4	40	橋爪 紳也	副会長	大阪府立大学 特別教授
5	39	川本 直彦	副理事長	法政大学SSSI 講師
6	37	北本 正孟	副会長	㈱カントリー 代表取締役
7	35	宮木 宗治	常務理事	静岡文化芸術大学 講師
8	31	森 隆一	副理事長	㈱電通 取締役副社長執行役員
9	30	望月 照彦	副会長	多摩大学大学院 教授
10	29	井関 利明	副会長	慶應義塾大学 名誉教授

表2：会長・理事長推薦による理事候補者（50音順・敬称略）10名

会員種類	氏 名	現在役職	所 属
個人会員	秋岡 榮子	理事	上海万国博日本産業館 事務局長
個人会員	浅葉 克己	理事	㈱浅葉克己デザイン室
個人会員	岩崎 博	理事	エスシー・プランニングオフィス 代表
個人会員	梶原 貞幸		エス・エフメーカーズ(㈱) 取締役
個人会員	澤田 裕二	理事	㈱SD 代表取締役
個人会員	間藤 芳樹	理事	㈱マッシュ 代表取締役
個人会員	マリ・クリスチーヌ		エムキューブインターナショナル
個人会員	宮地 克昌	監事	福山大学 客員教授
個人会員	宮本 倫明	理事	ランダアソシエイツ 代表
個人会員	師岡 文男	理事	上智大学 教授

表3：法人会員理事候補者（法人名50音順・敬称略）10社

会員種類	会員代表者名	現在役職	法 人 名	代表者役職
法人会員	長沼 孝一郎	理事	㈱アサツーディ・ケイ	代表取締役会長
法人会員	光井 勇人		㈱エイジ・エンタテインメント	代表取締役社長
法人会員	谷 喜久郎	理事	㈱新東通信	代表取締役会長
法人会員	渡辺 亮	理事	㈱丹青社	取締役会長
法人会員	河野 康之	副理事長	TSP太陽(㈱)	代表取締役社長
法人会員	秋本 道弘	理事	㈱ティー・オー・ダブリュー	代表取締役社長
法人会員	桑原 常泰	理事	㈱東急エージェンシー	代表取締役社長
法人会員	木村 正	理事	(社)日本イベント産業振興協会	専務理事
法人会員	渡辺 勝	副理事長	㈱乃村工藝社	代表取締役社長
法人会員	成田 純治	副理事長	㈱博報堂	代表取締役社長

表4 監事候補者（50音順・敬称略） 2名

会員種類	氏 名	現在役職	所 属
個人会員	園田 榮治	監事	(株)インタープラン 代表取締役会長
個人会員	原田 周平		日本経済新聞社 クロスメディア営業局

(2) 役付き理事選任

1) 会長・理事長選任候補

表5 理事互選による会長候補者（敬称略）

会員種類	氏 名	現在役職	所 属
個人会員	堺屋 太一	会長	(株)堺屋太一研究所 代表取締役

表6 理事互選による理事長候補者（敬称略）

会員種類	氏 名	現在役職	所 属
法人会員	成田 純治	副理事長	(株)博報堂 代表取締役社長

2) その他役付き理事選任候補者

表7 会長推薦による副会長候補者（50音順・敬称略）

会員種類	氏 名	現在役職	所 属
個人会員	川本 直彦	副理事長	法政大学S S I 講師
個人会員	北本 正孟	副会長	(株)カントリー 代表取締役
個人会員	野川 春夫	副会長	順天堂大学 教授
個人会員	橋爪 紳也	副会長	大阪府立大学 特別教授
個人会員	望月 照彦	副会長	多摩大学大学院 教授

表8 理事長推薦による副理事長候補者（50音順・敬称略）

会員種類	氏 名	現在役職	所 属
法人会員	秋本 道弘	理事	(株)ティー・オー・ダブリュー 代表取締役社長
法人会員	河野 康之	副理事長	T S P 太陽(株) 代表取締役社長
個人会員	森 隆一	副理事長	(株)電通 取締役副社長執行役員
法人会員	渡辺 勝	副理事長	(株)乃村工藝社 代表取締役社長

表9 理事長推薦による常務理事候補者

会員種類	氏 名	現在役職	所 属
個人会員	小林 政則	常務理事	イベント学会 事務局長

2010 年度イベント学会役員名簿

役 職	会員種類	氏 名	所 属
会 長	個人会員	堺屋 太一	(株)堺屋太一研究所 代表取締役
理事長	法人会員	成田 純治	(株)博報堂 代表取締役社長
副会長	個人会員	川本 直彦	法政大学S S I 講師
副会長	個人会員	北本 正孟	(株)カントリー 代表取締役
副会長	個人会員	野川 春夫	順天堂大学 教授
副会長	個人会員	橋爪 紳也	大阪府立大学 特別教授
副会長	個人会員	望月 照彦	多摩大学大学院 教授
副理事長	法人会員	秋本 道弘	(株)テー・オー・ダブリュー代表取締役社長
副理事長	法人会員	河野 康之	T S P 太陽(株) 代表取締役社長
副理事長	個人会員	森 隆一	(株)電通 取締役副社長執行役員
副理事長	法人会員	渡辺 勝	(株)乃村工藝社 代表取締役社長
常務理事	個人会員	小林 政則	イベント学会 事務局長
理 事	個人会員	秋岡 榮子	上海万国博日本産業館 事務局長
理 事	個人会員	浅葉 克己	(株)浅葉克己デザイン室
理 事	個人会員	井関 利明	慶應義塾大学 名誉教授
理 事	個人会員	岩崎 博	エスシー・プランニング・オフィス 代表
理 事	個人会員	梶原 貞幸	エス・エフメーカーズ(株) 取締役
理 事	個人会員	澤田 裕二	(株)SD 代表取締役社長
理 事	個人会員	間藤 芳樹	羽衣国際大学 客員教授
理 事	個人会員	マリ・クリスチーヌ	エムキューブインターナショナル
理 事	個人会員	宮木 宗治	静岡文化芸術大学 講師
理 事	個人会員	宮地 克昌	福山大学 客員教授
理 事	個人会員	宮本 優明	ランダアソシエイツ 代表
理 事	個人会員	師岡 文男	上智大学 教授
理 事	法人会員	長沼 孝一郎	(株)アサツーディ・ケイ 代表取締役会長
理 事	法人会員	光井 勇人	(株)エイジ・エンタテインメント 代表
理 事	法人会員	谷 喜久郎	(株)新東通信 代表取締役会長
理 事	法人会員	渡辺 亮	(株)丹青社 取締役会長
理 事	法人会員	桑原 常泰	(株)東急エージェンシー 代表取締役社長
理 事	法人会員	木村 正	(社)日本イベント産業振興協会 専務理事
監 事	個人会員	園田 榮治	(株)インターパン 代表取締役会長
監 事	個人会員	原田 周平	日本経済新聞社 クロスマedia営業局

個人理事 10 名、法人理事 10 名、会長・理事長推薦理事 10 名、監事 2 名 計 32 名

第2号議案

2009年度活動報告（案）および決算書（案）承認の件

(1) 2009年度活動報告

(2) 2009年度決算書

2009年度 主な活動履歴

- 4/10 「イベント学のすすめ」再版発行（出版社：ぎょうせい）
/13 2009年研究大会実行委員会
/22 2008年度第3回運営会議（TSP 太陽）
/24 金曜サロン（中国企業との協業を成功させるために・25名）
5/8 研究大会キックオフミーティング
/12 2009年理事会・総会（パシフィコ横浜）／「イベントJapan2009」
2009年研究大会（～13日（水）・パシフィコ横浜・300名）
/25 2010年研究大会実行委員会第1回準備会（大阪）
6/8 2008年度助成研究報告会
/10 日本イベント産業振興協会（JACE）総会懇親会
/11 日本イベントプロデュース協会（JEPC）総会懇親会
/26 金曜サロン（自治体WEBマーケティングレポート・50名）
7/1 会報「イベントロジー」22号発行（研究大会特集）
2009年度研究助成募集開始（～7月31日）
/21 イベント関係4団体「暑気払い」・26名
/31 第1回「就職情報サロン」・29名
8/6 2009年度研究助成審査会
/18 「スイングサロンIN 神戸」・11名
/26 2010年研究大会実行委員会第2回準備会（大阪）
/27 金曜サロン（リ・ファッション・ワークショップ報告・12名）
9/1 2009年度研究助成発表/2008年度助成研究報告書を学会Webに掲載
/9 イベントJapan2010第1回実行委員会（以後月例開催）
/18 2009年度第1回運営会議（電通）
10/28 日本イベント業務管理者協会（JEDIS）総会懇親会
/30 金曜サロン（オンデマンド印刷の可能性・44名）
11/30 2010年研究大会第1回実行委員会（大阪・電通）
12/8 イベントマネジメント研究会・12名
(2010年)
1/29 新春サロン（平城遷都1300年祭、東京学生祭・33名）
2/15 学会Webメンテナンス委員会
2/19 第1回選挙管理委員会
2/25 2010年研究大会第2回実行委員会（大阪・乃村工藝社）
/26 金曜サロン（ネット活用ビジネス、エコメッセ2010inちば・32名）
3/15 シラバス研究会（乃村工藝社）12名
3/16 第2回運営会議（事務局）
/19 理事・役員選挙公示（投票締め切り4月2日、4月8日開票）
/26 第2回「就職情報サロン」27名

2009年度 事業活動報告

①2009年研究大会

会期:2009年5月12日(火)10:00~18:00 5月13日(水)10:00~17:00

会場:パシフィコ横浜／会議センター小ホール、ロビー、小会議室、展示ホールB

■5月12日(火)

12:45~13:15 イベント学会2009年度総会

13:30 「2009年研究大会 開会宣言」

宮木 宗治 大会実行委員長(イベント学会常務理事)

13:35 「来賓ご挨拶」

川口 良一 横浜市開港150周年・創造都市事業本部 本部長

13:40 「記念講演」 堀屋 太一イベント学会会長

講演テーマ『イベント イノベーション』

14:45 「シンポジウム」～イベントが都市を創造する～

モデレーター/橋爪 紳也(イベント学会副会長)

パネリスト /近澤 弘明氏(横浜まちづくり倶楽部 発起人会・世話人)

/池田 修氏(BankART1929代表)

/羽田 耕治氏(横浜商科大学 商学部 貿易・観光学科教授)

ビデオメッセージ/日比野克彦(横浜開港150周年プロデューサー)

16:15~17:00 口頭発表2件(エア遊具の安全・エコ展示会)

10:00~17:30 「ポスター発表」(口頭説明:17:05~17:30)

10:00~18:00 イベントJapan 展示ブース出展

■5月13日(水)

10:00~16:30 口頭発表14件

10:00~16:30 ポスター発表

11:00~15:50 ミニシンポジウム4件

10:00~17:00 イベントJapan 展示ブース出展

16:45~17:15 :閉会式・記念撮影

(2010年研究大会の準備)

実行委員会準備会(5月25日、8月26日) 實行委員会(11月30日、2月25日)

大阪市、国立民族博物館、千里文化財団、日本万国博覧会記念機構などと連携を図る中で関西圏での開催を計画した。

②研究助成

募集：7月1日募集開始～締め切り7月31日

審査：8月6日審査会開催、発表：9月1日

報告発表：2010年3月下旬および9月4日(研究大会時)

(助成対象研究)

研究者	研究テーマ
桑田 政美 京都嵯峨芸術大学教授	ジャパンエキスポが地域の観光振興に果たした役割 ～世界リゾート博、熊野体験博を事例として～
平家 良美 (株)京都総合研究所	古都・京都の文化財とイベントに関する一考察
山田 満 順天堂大学准教授	イベント効果指標開発のための基礎研究と実証実験

③イベント学研究会

「イベントマネジメント研究会」12月8日・12名 イベントの評価指標の研究

「シラバス研究会」3月15日・12名 イベント学科の創設に向けて

④交流サロン

「金曜サロン」4月24日（25名）、6月26日（50名）、8月27日（12名）

10月30日（44名）、12月25日（44名）、2月26日（32名）

「就職情報サロン」7月31日（29名）、3月26日（27名）

「交流イベント」7月21日（イベント関係4団体暑気払い・26名）

8月18日（スイングサロンIN神戸・11名）

1月29日（新春サロン・33名）

⑤広報活動

「会報イベントロジー第22号」：7月1日発行。研究大会特集

「学会Web」：研究大会、イベント学研究会、金曜サロン、交流イベントの参加者募集

研究助成募集、報告書・発表論文掲載、会員情報掲載、フォトギャラリー

「メールマガジン」：イベント学会ニュース（毎月初旬定期配信）

⑥その他

- ・「イベント学のすすめ」再版発行（1,000部）に伴う販売支援活動として
事務局内での割り引き販売を実施。41部を販売。初版2,000部は完売。
- ・イベント関連団体との連携活動を実施
JACE（日本イベント産業振興協会）、JEPC（日本イベントプロデュース協会）
JEDIS（日本イベント業務管理者協会）とともにイベントJAPAN2009に参加。

2009年度決算書（案）

2009年度決算書

2009年4月1日～2010年3月31日

収入の部			
コード	科 目 名	0 9 年度予算	0 9 年度決算
511	入会金収入	200,000	265,000
512	年会費収入 個人	1,400,000	1,320,000
513	年会費収入 準会員	10,000	50,000
514	年会費収入 自治体会	50,000	50,000
515	年会費収入 法人会員	5,300,000	6,600,000
516	事業収入 研究大会	500,000	445,000
518	事業収入 その他	100,000	623,506
800	受取利息	0	543
	当期収入計	7,560,000	9,354,049
	前期繰越	1,519,533	1,519,533
	収入合計	9,079,533	10,873,582
支出の部			
	科 目 名	支 出	支 出
700	事業費 研究大会	1,500,000	1,794,516
701	事業費 年次大会	50,000	59,343
702	事業費 広報事業	1,500,000	1,399,644
703	事業費 研究助成	400,000	440,000
704	事業費 その他	100,000	416,704
705	給与・通勤費	1,800,000	1,541,848
708	会議費	400,000	609,157
710	旅費交通費	300,000	672,910
711	消耗品費	50,000	61,717
712	通信運搬費	300,000	357,430
713	印刷費	500,000	291,110
714	賃借料	420,000	420,000
715	資料費	20,000	1,649
716	謝金	20,000	19,000
717	会場費	50,000	0
751	支払手数料	20,000	14,780
752	雑 費	80,000	136,881
	当期支出計	7,510,000	8,236,689
	当期収支差額	50,000	1,117,360
	収支差額	50,000	2,636,893
	次期繰越差額	50,000	2,636,893

貸借対照表
2010年 3月 31日 現在

	当年度	前年度	増減
I. 資産の部 現預金	2,636,893	1,919,533	717,360
資産合計	2,636,893	1,919,533	717,360
II. 負債の部 未払金	0	400,000	-400,000
負債合計	0	400,000	-400,000
III. 正味財産 1. 正味財産増減の部 当期正味財産増減額	1,117,360	-2,603,970	3,721,330
正味財産期首残高	1,519,533	4,123,503	—
正味財産期末残高	2,636,893	1,519,533	1,117,360

残高証明書

みずほ銀行 ￥468,263
 ゆうちょ銀行 ￥2,168,630
 合計￥2,636,893

殘高證明書

イベント学会 様

平成 22 年 3 月 31 日 現在

金額合計	¥ 4 6 8 , 2 6 3 ※
------	-------------------

貴ご名義勘定の残高は上記の通りでございます。

平成 22 年 4 月 1 日

(注) この証明書の金額は訂正いたしません。
預金の残高には他店券によるご入金分も含まれております。

株式会社みずほ銀行
麹町支店
006893



振替口座残高証明書

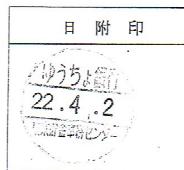
口座番号	00120 - 0 - 357450
------	--------------------

加入者名	イベント学会
------	--------

平成22年3月31日 現在の口座現在高

***** 2,168,630 円

上記のとおり証明します



監査報告書

イベント学会 会長 堀屋 太一様

監査報告書

2009年度の事業報告書および計算書類は、

適正かつ妥当であることを認めます。

2010年4月6日

イベント学会 監事 園田 榮治

園田栄治 

イベント学会 監事 宮地 克昌

宮地克昌 

第3号議案

2010年度活動計画（案）および予算書（案）承認の件

(1) 2010年度活動計画（案）

(2) 2010年度予算書（案）

(1) 2010年度活動計画（案）

◎基本方針

1) 大学、教育機関、研究機関との連携を図る交流活動と創造活動の展開

イベント学会の設立趣旨である「イベント研究の推進」と諸科学横断的な「交流の場」創造を目指して、大学や専門学校等の教育機関、政府や自治体の研究機関、企業・団体の研究部門、他の学会、イベント関連団体との連携活動を促進する。

2) 学会活動への会員の参加促進と新規会員の獲得

「イベント学研究助成金制度」や「イベント学研究会」を通じて、会員の研究活動の促進を図り、「研究大会」や「テーマ研究会」、「学会 Web」での発表機会を拡充する。

また、「金曜サロン」「就職サロン」を定期的に各地で開催し、会員相互の交流と同時に会員と非会員の交流を図りながら新規会員の獲得を目指す。

① 2010年研究大会

趣 旨：2008年の「イベント学会10周年記念大会」のテーマ「イベントイノベーション」を中長期的テーマとして継承し2009年の横浜市に続き今年は大阪市、国立民族博物館などの自治体、諸機関と連携し、イベントによる社会変革を発信してゆく。

開催要領：別紙参照

予 算：250万円

② 研究助成

趣 旨：イベント学研究振興のため、会員に研究費を助成する。

予 算：44万円（3件程度）

募集期間：6月下旬から7月末

結果発表：9月初旬

報告会：2011年3月下旬

冠助成制度：特定テーマの研究助成について、助成金やデータベースの提供を法人会員に呼びかけ、冠助成制度の導入を検討する。

③ イベント学研究会と大学等支援

趣 旨：イベント学の研究推進と会員相互の交流を図るため、前年度に引き続き特定テーマを設定のうえ研究発表、意見交換を行う。また、大学など教育機関が行うイベント学講座を後援して会員を講師として紹介し、イベント学科創設に向けた支援活動を行う。

テーマ研究会：「イベントマネジメント研究会」

「シラバス研究会」

大学等支援：上智大学公開講座「イベント学入門」への後援と講師紹介

予 算：15万円（5回程度）懇親会参加費は一人1,000円。

④ 交流イベント（金曜サロン、就職サロン）

趣 旨：イベントに関する技術、商品、サービスなどの情報を会員間で共有すると同時に、非会員との交流を図りながら新規会員獲得を目指す。

また、イベント産業への就職を志望する学生などに向けて法人会員の社員が企業と仕事を紹介する就職サロンを開催し産学の交流に寄与する。

会場地：東京、大阪など

予 算：27万円（年間9回程度）懇親会参加費は一人1,000円。

⑤ 広報活動

趣 旨：会員の参加を得て研究発表や寄稿などのコンテンツを積極的に発信し、会員相互の交流と学会活動のPR、新規会員獲得を目指す。

メディア：「会報イベントロジー」

・研究大会特集を10月に発行。イベント関係団体、関連学会にも配布。

「学会Web」

・研究大会、イベント学研究会、交流イベントの参加者募集、会員の活動紹介を中心に広報活動の柱とし会員参加による交流メディアとして寄稿などを募集する。また研究助成論文などを掲載することによりデータの共有化とアーカイブ化を目指す。

「メールマガジン」

・交流イベントの開催告知などを月例で発信。

予 算：140万円

⑥ その他事業

論文集、「イベント学のすすめ」普及販売

「イベント JAPAN 2010」への参加

(2) 2010年度予算書(案)

2010年度予算書(案) 2009年4月1日～2010年3月31日

収入の部			
科 目 名	09年度決算	10年度予算	備考
入会金収入	265,000	400,000	法人3口、個人20口
年会費収入 個人	1,320,000	1,380,000	1万円×138人
年会費収入 準会員	50,000	50,000	2,000円×25人
年会費収入 自治体会	50,000	50,000	静岡県
年会費収入 法人会員	6,600,000	6,300,000	63口
事業収入 研究大会	445,000	450,000	参加費5,000円×90人
事業収入 交流サロン等	623,506	420,000	サロン36万、書籍6万
受取利息	543	0	
当期収入計	9,354,049	9,050,000	
前期繰越	1,519,533	2,636,893	
収入合計	10,873,582	11,686,893	
支出の部			
科 目 名	09年度決算	10年度予算	
事業費 研究大会	1,794,516	2,500,000	大阪大会
事業費 年次大会	59,343	0	
事業費 広報事業	1,399,644	1,400,000	学会Web、会報
事業費 研究助成	440,000	440,000	3件程度
事業費 交流サロン等	416,704	420,000	サロン経費、書籍仕入れ
給与・通勤費	1,541,848	1,650,000	事務局人件費、社会保険
会議費	609,157	600,000	理事会、総会、部会
旅費交通費	672,910	700,000	都内交通、出張費
消耗品費	61,717	60,000	文具、インク、用紙等
通信運搬費	357,430	355,000	電信、郵送、宅配
印刷費	291,110	290,000	パンフ、封筒、ラベル等
賃借料	420,000	420,000	JACE家賃
資料費	1,649	50,000	
謝金	19,000	20,000	保険事務
会場費	0	0	
支払手数料	14,780	15,000	
雜 費	136,881	130,000	慶弔費、参加会費等
当期支出計	8,236,689	9,050,000	
当期収支差額	1,117,360	0	
収支差額	2,636,893	2,636,893	
次期繰越差額	2,636,893	2,636,893	